

平成 29 年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4 年間の目標 (平成 29 年度策 定)	1 年間の目標	取 組 の 内 容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの個性・可能性の開発と伸長が図れる教育課程を実践し、自立した個人として必要な社会実践力を身につけさせる。</p> <p>②「学ぶ」楽しさを意識した不断の授業改善に取り組む。</p>	<p>①基礎・基本の定着につながる学習支援システムを展開する。また、総合的な学習の時間における「朝読書」を効果的に活用する。</p> <p>②「わかる授業」作りにつながる組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①1年生を対象に火曜と木曜6校時相当を利用した補習プログラムを実施する。</p> <p>①朝読書より読む力・読み解く力・書く力を育成する。</p> <p>②生徒の特性や学習状況を踏まえ、教材教具・評価方法の工夫、UD化など組織的な授業改善を推進する。</p>	<p>①年間35回の補習プログラムを実施できたか。</p> <p>①年間2冊以上の本を読み、POP・ビブリオバトル・感想文等で発表することができたか。</p> <p>②生徒の状況を把握した適切な評価ができたか。また、UD化に向けた全職員の意識が向上したか。</p>
2 生徒指導・支援	<p>組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整える。</p>	<p>①全職員による一斉指導を展開し、生徒に基本的生活習慣を身につけさせる。</p> <p>②コア会議・ケース会議・生徒支援会議を活用した教育相談体制により、チーム支援に取り組む。</p>	<p>①生徒の安心・安全に向けた問題行動等未然防止に向けた取組みを実施する。</p> <p>①部活動活性化に向けた様々なプログラムを実施する。</p> <p>②SCやSSW、さらにはSCCとの連携を強化し、日常的な生徒情報の共有化を図ることで、全職員による教育相談・チーム支援に取り組む。</p> <p>②校内に生徒の様々な居場所をつくり、情報の収集と在校生同士や多くの大人との交流する機会をつくる。</p>	<p>①問題行動等未然防止の研修や講演等が実施できたか。</p> <p>①生徒の基本的生活習慣と規範意識に向上は見られたか。</p> <p>①部活動加入率が増加したか。</p> <p>②SCやSSW、SCCとの連携状況は良好であったか。</p> <p>②新たな生徒の居場所をつくり、生徒のコミュニケーションスキルの向上など生徒支援につなげることができたか。</p>
3 進路指導・支援	<p>自立した個人として自己のキャリア意識を高め、社会と関わり貢献できる生徒を育成する。</p>	<p>①総合的な学習の時間を中心とした3年間の系統的なキャリアプログラムを実践・検証を継続する。</p>	<p>①1年生のキャリアプログラムの着実な実施と検証、それに基づく2、3年のプログラムの完成を図る。</p>	<p>①1年生で実施したキャリアプログラムについて、アンケート調査を実施し検証できたか。</p> <p>①2、3年のキャリアプログラムの完成</p>

	視点	4年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
			②地域・社会と連携したキャリア教育実践プログラムにより生徒の社会実践力を高める。	②外部資源を活用した「職業体験」「職業インタビュー」を着実に実践する。 ②積極的にSCCと生徒をつなぎ、新しくなった進路室を効果的に機能させる。	が図れたか。 ②1年生の「職業観」「勤労観」を刺激することはできたか。 ②年間を通じた生徒の進路室の訪問回数は増加したか。就職内定率の向上や進路未決定者の減少は見られたか。
4	地域等との協働	保護者や地域との協働による学校づくりを推進し、人と社会と未来につながる開かれた学校づくりを推進する。	①学校説明会やHP等を活用した情報発信により、外部資源との連携強化を推進する。 ②学校運営協議会制度を活用し、外部評価を取り入れた教育活動を推進する。	①学校説明会やHP、ツイッター、まちcomiメール等の様々なメディアの特性をふまえ、定期的な情報発信を行う。 ②生徒防災委員を機能させ、地域と連携した実践的学校の防災プログラムを実施する。 ②地域の行事・小学校・幼稚園・施設等にボランティアとして積極的に関わっていく。	①学校説明会や様々なメディアを活用した効果的な情報発信ができたか。 ①情報発信によって地域コミュニティの反応が見られたか。 ②生徒参画型防災訓練やDIG研修は実施できたか。また、生徒・職員の防災意識は向上したか。 ②生徒会本部を中心にボランティアを募り、活動に参加させることができたか。
5	学校管理 学校運営	すべての職員が学校運営の主体としての意識を共有し、一体となって教育活動に取り組む組織づくりを行う。	①学校運営協議会や「大和東クリエイティブ・プロジェクト」等を活性化させ、全職員間の情報共有に努める。 ②不祥事・事故防止研修会を年間10回以上実施する。	①学校運営協議会（やまひが協議会）を年4回実施し、5つの部会を機能させ家庭や地域の学校運営参画の機会をつくる。 ①YEーアンケートを実施しステークホルダーのニーズと評価を探る。 ①新校スタートに伴い、授業展開その他における教育環境整備を行う。 ②タイムリーに事故・不祥事の防止研修等を実施し、全職員の想像力を高めていく。	①学校運営協議会を年4回実施できたか。また、5つの部会は機能したか。 ①YEーアンケートの検証ができたか。 ①必要な箇所が整備され、または予定が決まっているか。 ②事故・不祥事防止に向けて職員の意識改革が推進されたか。